

2023 年度 学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

報告者 校長 石橋 恵二

## I 自己評価

### 1. 本校の教育目標

「理想(VISION)―世のために役立ち、人々に必要とされる社会人となる」を校訓に掲げ、中学校までの義務教育の課程で養われた基礎の上に、社会自立のために、職業技術や専門知識、人間としての基礎的な教養や生活力を身につけさせ、実社会や上級校に送り出すことを目標としている。

### 2. 本年度の重点目標

- 1) 進路指導(職業観の育成と社会適応力の強化)
- 2) 自己開示と表現力の強化
- 3) 本校の魅力を積極的に発信(継続)
- 4) ICT 教育の更なる推進

### 3. 重点目標についての評価(A~D)と取り組み状況や課題

A・・・達成できた B・・・概ね達成できた C・・・達成が不十分 D・・・達成できていない

#### 1) 進路指導(職業観の育成と社会適応力の強化)(B)

- ・ コロナ禍という厳しい社会情勢の中での進路活動であり、時間を要した事例も複数あったが、1年次から積み重ねてきた取り組みの成果により、3学年49名(就職41名、専門学校等進学3名、大学・専門職大学等進学5名)が進路先を決定した。
- ・ また、生徒一人ひとりが健康管理の維持に努め、3年間皆勤は29%、多くの生徒が精皆勤賞を受賞した。

#### 2) 自己開示と表現力の強化(A)

- ・ 日々の生活と行事(スポーツ大会、学園祭、合唱コンクール等)を通して、生徒が積極的に取り組めた。また、スピーチコンテストや始業式、終業式の校長講話の後に、指名された。
- ・ 生徒がスピーチをする機会を設け、自信につなげた。

#### 2) 本校の魅力を積極的に発信(継続)(B)

- ・ フェイスブックやインスタグラムを通して積極的に本校の取り組みを外部に発信し、幅

広い年齢層（特に中学生）に本校の魅力を届ける工夫をした。体験入学の参加者、受験者の増加と生徒募集活動にその成果が表れてきている

- ・ 第16回中学生こころの作文コンクールを実施し、78校、1,508編の応募があり、多くの中学生に障がいのある方、共生社会への理解推進につなげることができた。また、専門コースを通してコンテスト、コンクールに挑戦し、入賞を果たし、魅力発信にとどまらず、生徒の自信とやる気につながった。

#### 4) ICT教育の更なる推進(B)

- ・ 生徒のタブレット利用が定着し、ホームルームや授業のほか友愛会活動や部活動など様々な場で活用することができた。さらに有効活用できるよう教材研究に努めていく必要がある。

### 4. 総合的な評価と今後の課題

本校のさまざまな取り組みと経験が、自己開示をするきっかけとなり、生徒一人ひとりの成長につなげることができた。その成果が3年生の進路指導の結果にも表れている。

また、積極的な魅力発信の一環として取り組んでいるコンテスト・コンクールへの挑戦は、魅力発信のみならず生徒にとっての達成感や自信を獲得する好機となった。検定資格取得に挑戦することも含めて、意義深い取り組みとして継続していきたい。

今後の課題として、障害のある生徒の在籍数が増える現状において、その進路指導の体制と指導内容の改善が挙げられる。卒業生の定着支援体制については、支援機関とのさらなる連携構築が必要不可欠である。

本校の魅力発信においては、生徒募集でその成果が表れてきていると感じている。今後も本校で学びたいと思えるような情報発信に努めていきたい。

## II 学校関係者評価

### (1) 進路指導（職業観の育成と社会適応力の強化）

就職試験対策の一環として行われている就職模擬試験は就職に対する意識向上が図られていると思う。

成年年齢としての自覚を促す指導として、特に金融教育で外部から講師を招き、2回の特別授業を行ってくれたことはよかった。

3年間の教育の成果として出口指導に責任をもって取り組んでいることが重要なところであり、継続して行ってほしい。

昨年度は3年間皆勤率が48%で今年度は29%と下がっている。生徒、保護者の意識を改めて高められるとよい。

(2) 自己開示と表現力の強化

生徒たちが全ての学校行事を経験することができたことは大変よかった。

年度末の授業参観で「年度報告会」を聞いたが、生徒たちが一年間で何を思い、何を学んだかをよく理解できた。3年生の発表はどれも素晴らしく、胸に迫るもので、下級生の生徒たちの手本、憧れにもなったように思う。

(3) 本校の魅力を積極的に発信

学校の魅力を外部に対して情報発信した成果が、生徒募集の結果に表れてきていることは評価できる。さらに生徒の意欲的な活動を発信してほしい。

(4) ICT 教育の更なる推進

生徒のタブレット利用が授業のほか友愛会活動、部活動などさまざまな場面でできているようだが、情報リテラシーや個人情報保護という点で充分にできているか、またそれを予防するための指導については一層強化してもらいたい。